

社員の 主体性を高めるための フレームワーク

よくいただくご相談

指示待ちではなく
主体的に動ける社員を増やしたい

会社や自分のために必要なことを
自ら積極的に学んでほしい

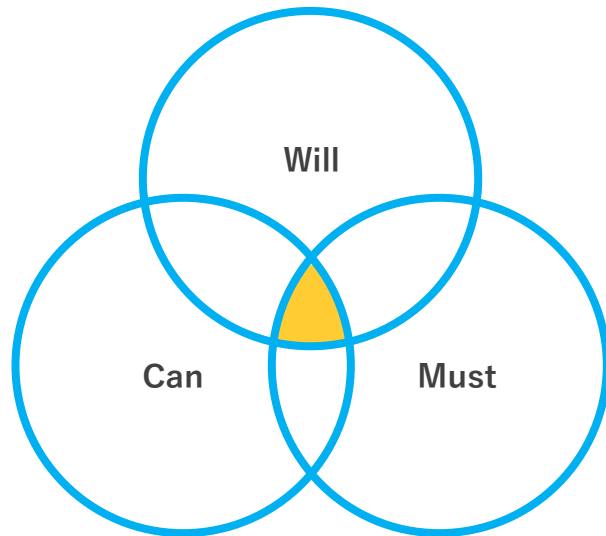
仕事に対するやらされ感を無くし
社員のモチベーションを上げたい



Will-Can-Must とは？

自らの仕事で実現したいこと・できること・すべきことを整理するフレームワークです。

「Will-Can-Must」のフレームで整理することで、自身と組織のためにどうありたいかが明確になり、主体性をもって仕事や能力開発に取り組むことができます。



Will

仕事を通して実現したいこと
(1～3年後のキャリアイメージ)

Can

できることや活かしたい強み
解決したい課題や必要な能力・行動

Must

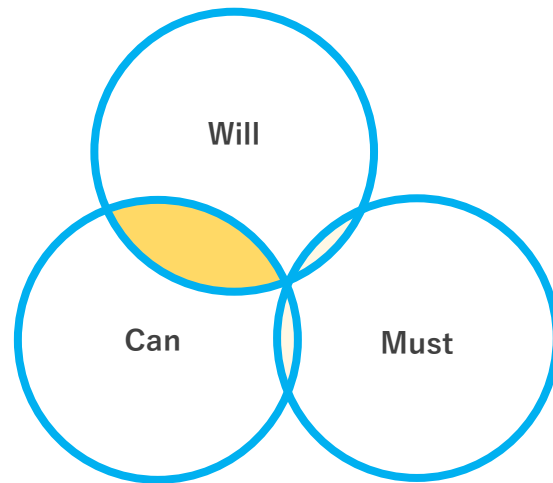
組織から与えられている仕事や役割、期待

Will-Can-Mustの難しさ

本来、誰しもが「Will-Can-Must」を持っているはずですが。
しかし、この整理ができていないと、主体性を生まないだけでなく、様々な弊害が生じます。
まずは、整理をしていく機会や仕組みをつくりましょう。

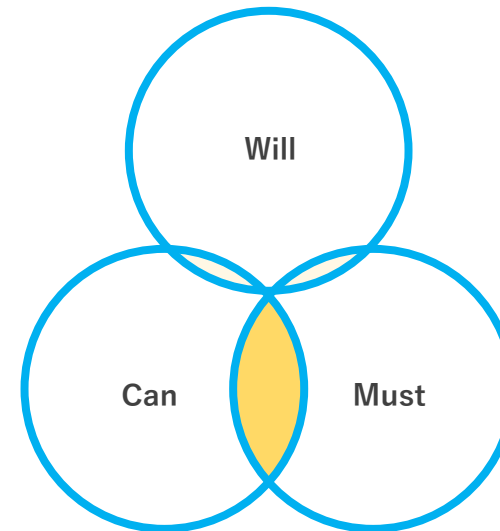
仕事へのコミットメント低下

やりたいことにしか力を入れて取り組まない



組織へのエンゲージメント低下

仕事に対してやらされ感を抱いてしまう




WEBセミナーのご案内

社員の主体性を高める社員教育の仕組みについて、
WEBセミナーでご紹介しています。ぜひご参加くださいませ。

エンカレッジオンライン紹介セミナー

これからの時代に必要な
“個”を活かし、“企業”を成長させる社員教育とは
—構築・運用の事例紹介—



セミナー詳細・お申し込みはコチラ

<https://lp.on-board.io/webinar2020.html>

